

「前橋空襲・広島・長崎原爆パネル展」を開催しています

昭和20年（1945年）8月5日、米軍爆撃機による前橋の空襲により、市民535人が亡くなりました。戦争は遠い国の出来事ではなく、私たちの前橋にも起こった出来事であることや、戦争体験を風化させてはいけないことを認識する必要があります。

そこで、前橋空襲や広島・長崎への原爆投下の被害等を伝えるパネル等を展示し、戦争の悲惨さや平和の尊さを再認識する契機とします。

市役所1階市民ロビーでは、上記パネルのほか令和2年3月に閉館した「旧あたご歴史資料館」の収蔵品の一部を展示します。

1 会場

前橋市役所1階市民ロビーほか
(別添のとおり)

2 期間

令和4年7月27日（水）から8月17日（水）まで（市役所1階市民ロビー）
(ほかの展示場所は別添のとおり)

3 主な展示品

- ・前橋空襲体験者の証言パネル

(あたご歴史研究会会長、元あたご歴史資料館学芸員 はらだつねひろ 原田恒弘さん)

- ・広島・長崎原爆投下に関するパネル
- ・旧あたご歴史資料館収蔵品（市役所1階市民ロビー展示期間のみ）

本件に関するお問い合わせ先

生活課 地域振興係

電話 直通 / 027-898-6236